

令和5年度第2回さいたま市図書館協議会会議録

開催日時	令和5年12月18日（月） 10時00分～12時00分
開催場所	さいたま市立中央図書館内
出席者	（委員 ※敬称略） 山田和子、加藤路子、富田敏弘、二宮奈緒美、石川敬史、入井将文、佐藤理恵、 関根公一、柏宏之、森裕子 （事務局） 辻生涯学習部長、杉本中央図書館長、内田中央図書館副館長、宮野管理課長、 中島資料サービス課長、大橋北浦和図書館長、望月東浦和図書館長、 馬淵大宮図書館長、大木大宮西部図書館長、長谷川春野図書館長、 石井与野図書館長、村山岩槻図書館長、熊木桜図書館長、玉木北図書館長、 藤村武蔵浦和図書館長
欠席者	（委員 ※敬称略） 宮田洋輔、安藤幸子
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人

次第

令和5年度第2回さいたま市図書館協議会

日時：令和5年12月18日（月）10時00分～

会場：さいたま市中央図書館

次 第

1 開 会

2 任命書の交付について

3 委員長及び副委員長の選出

4 報告事項

(1) さいたま市図書館協議会について

(2) さいたま市図書館の概要について

5 議題

(1) 令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価報告書について

(2) 第12期さいたま市図書館協議会からの提言について

6 今後の進行について

7 その他

8 閉 会

<配布資料>

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 第12期図書館協議会委員名簿 | ・・・(資料No.1) |
| (2) 令和5年度さいたま市図書館名簿 | ・・・(資料No.2) |
| (3) さいたま市図書館協議会について | ・・・(資料No.3) |
| (4) 令和5年度さいたま市図書館要覧 | ・・・ 冊子 |
| (5) 令和4年度市町村図書館活動調査結果一覧（埼玉県図書館協会） | ・・・(資料No.4) |
| (6) 第12期さいたま市図書館協議会の提言事項について | ・・・(資料No.5) |
| (7) 図書館ビジョン策定に係るスケジュールについて | ・・・(資料No.6) |
| (8) 与野図書館エレベーター修繕に伴う臨時休館について | ・・・(資料No.7) |

<事前送付済み資料>

- (1) 令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価について

1 開会
2 委員任命書交付
3 生涯学習部長挨拶
図書館協議会委員・事務局職員自己紹介
正副委員長選出

新たに任命された図書館協議会委員に、辻生涯学習部長より委員任命書が交付された。
 本会議について公開とすることを確認後、傍聴希望者を確認。傍聴人なし。
 各委員、事務局職員が1，2分程度で自己紹介を行う。
 また、委員の互選により、石川委員が委員長に、加藤委員が副委員長に選出された。
 石川委員長、加藤副委員長から就任挨拶を行う。

4 報告事項
(1) さいたま市図書館協議会について
(2) さいたま市図書館の概要について

事務局より(1)さいたま市図書館協議会については資料No.3を用いて、(2)さいたま市図書館の概要については、令和5年度図書館要覧及び資料No.4を用いて報告を行った。

質問・意見・協議等

各委員 (特に質問、意見なし)

5 議題
(1) 令和5年度(令和4年度事業対象)図書館評価報告書について

図書館評価専門部会長である春野図書館長から、事前配布資料を用いて説明を行った。

質問・意見・協議等

二宮委員 各図書館でイベントや講座はどのような目安や目標で開催されているのか
 学校図書館と市の図書館はどのような連携をしているのか

春野図書館長 イベントや講座は年度の事業計画に基づいて定期的実施しているが、ノルマのようなものは設定していない。内容についても各図書館の特性等を踏まえて地域に根差す取り組みを行っている。

北浦和図書館長 学校図書館との連携については北浦和図書館に学校図書館支援センターが併設されており、学校図書館や授業での使用のために要請に基づき貸し出している。

資料サービス課長 各拠点図書館に担当の学校を割り振り、図書館から学校訪問を行い様々な読書支援や学校図書館への支援を実施している。また、図書館見学等も実施している。

中央図書館長 評価結果については評価実施要項に基づいた視点、評点で説明しているが、

指摘のとおり実態が見えにくい点がある。特色あるサービス・講座の実施と、それによる満足度の上昇を示すことで各図書館の工夫をアピールできる部分もあると考えられるため、図書館ビジョンについては変更できないが、見せ方について検討していきたい。

二宮委員

与野本町小学校では画期的な活動をしているが、そのようなことが他の学校、学校図書館へと共有される仕組みはあるのか

森委員

さいたま市ではすべての学校に図書館司書が配置されている。市の教育委員会の指導1課が主催して図書館司書を対象とした研修会を行い、情報交換が行われていると思う。また、司書教諭にも研修会があり、そこでも情報交換と市の教育委員会からの指導があると思う。

自身が校長として月一回お話朝会で話す際は図書館、読書を絡めた話をしているが、校長会で情報交換しても学校図書館に明るい校長でないとなかなか実施に至らない。

さいたま市の教育研究会の方でも情報提供しており、市の教育研究会で出している冊子でも紹介している。色々な取り組みを広めていければいいと思う。

石川委員長

子供たちが公共図書館に来るのは難しいかもしれないが、子供たちの生活の足元に読書環境があるのはとても重要なことだと思う。

講座等についても図書館だけで何かをするのは難しいので、他機関やボランティア団体と連携して実現していくのは重要だと思う。大宮図書館が中心に記載されているが、他機関との連携で留意している点があるか

大宮図書館長

本に関するイベントも多いが、それよりも普段図書館を使ってこなかった地域の方にも興味を持ってもらえるようなところと連携してイベントを企画、実施している。

石川委員長

春野図書館はどうか

春野図書館長

静謐な読書環境である図書館が、賑やかな場である公民館と連携することで、新しい学びの場を提供できればと考えて、さいたま市図書館全体で連携事業に取り組んでいる。

春野図書館では、昨年度より見沼区学という図書館、公民館だけでなく、博物館や文化財保護課、見沼区役所といった全体の連携で見沼区という地域を再発見しようという取り組みを開始した。

学校に関しては、資料サービス課長が紹介したもののほか、不登校の児童へのオンライン授業の一コマとして、図書館交流事業を行った。また、春野小学校の放課後チャレンジスクールにおいて、16ミリフィルムの映写会を行った。

加藤委員

予約しなくてもおはなし会に参加できるようになったが、子供たちの参加はどの程度回復しているか。自身が参加する大久保東分館においてはほとんどゼロであり、ボランティアのモチベーションや質に影響が出ることが懸念している。

資料サービス課長

市の方針で施設全体の50%といった枠組みがあったが、今年の5月から撤

廃され、受け入れ態勢としてはコロナ禍前に戻っている。予約制についても赤ちゃん向けおはなし会以外は当日参加できるようになっているが、参加者数の戻りについては鈍いと感じている。

来館者のうちの児童と大人の比率は取れていないが、児童書の貸出数についてはかなり復活してきているため、子供たちが興味を持つような取り組みを進めていきたいと考えている。

春野図書館長

一点補足として、図書館評価の実績値には開催したが参加者がなかったおはなし会は含まれていない。

石川委員長

乳幼児、児童のおはなし会に参加するというのは、子供に影響を与えるだけではなく、親同士の繋がりができるといった効果もあるので、非常に大切な活動だと思う。

5 議題

(2) 第12期さいたま市図書館協議会からの提言について

事務局より資料No.5を用いて説明を行った。

質問・意見・協議等

石川委員長

これからのさいたま市の図書館のあり方、望ましい方向性や、図書館をこれから良くしていくためにはどこに重要な要素があるか、各委員の様々な知見を寄せて成案を作り、できれば教育長に提出をしていきたい。

資料No.5中段の図に示してある部分が各委員の意見が必要な部分だと思う。これからの新しい図書館が目指すもの、もしくは新しい図書館の可能性としてどのような要素があるか意見をいただきたい。

議題(1)で話題に上がった学校図書館との連携も一つの要素に入ってくると考えている。その他にデジタル化や障害者の方への支援、多文化へのサービスなどが図書館に求められていく活動だと思っている。

入井委員

高齢社会へと時代が変化した中で、図書館に足を運べないが時間はある、学びたいという方が増えているはずである。買い物難民のための移動販売車が非常に喜ばれているというニュースもよく聞くが、図書館も移動図書館を使ってこちらから出向いて働きかけていくことができるのではないかと。

自治会では毎月回覧板を回しているが、自治会と区役所、図書館とが連携することで、自治会のある地区を担当する図書館が発信する情報を載せられれば図書館への認知が高まるのではないかと。

石川委員長

入井委員からの広報関係への指摘に関連して、柏委員からは子供の読書や広報、デザインに関する事など気付いた点はあるか。

柏委員

広報に関する話からずれるかもしれないが、多くの親子連れや小中学生などはあいぱれつとや公園には行くが、近くの図書館にはなかなか足が向かない。保護者としては、図書館は静かにするものと思いき、連れていき辛いのではないかと。実際には絵本のコーナーは端の方にあり、子供連れでも問題ないと思う。

子供たちが絵本が好きなのは間違いないと思う。

図書館の本は少し古いものというイメージがあるが、新刊も割と早く入れてくれているので、そういったところももっとアピールしても良いのではないか。

最近はインターネット上で読書や情報が完結してしまう。広告業界でもデジタル媒体がメインになっている。実際に触って紙の良さをもっと子供たちに感じてほしい。

子育てが一段落したくらいの世代は回覧板をじっくり見る時間がないので回覧板だと弱いと感じる。やはりスマートフォンで見られる情報が強い。悲しいことだが紙の媒体は弱い。それでも紙にもう一回戻って欲しいとも思う。

石川委員長

ただ本があるというだけでなく、賑やかでもよい楽しい場所であることを周知できるような広報のあり方が必要であるという指摘をもらったが、他の委員で何かあるか。

佐藤委員

このような場では子供たちや高齢者にスポットライトが当たりがちで、普通の社会人のことが忘れられがちなので、忘れないようにしてほしい。

関根委員

未来の図書館の一番のライバルはスマートフォンだと思う。色々なことがスマートフォンで全部済んでしまう。対策としては様々な観点での司書の強化が一般的である。私は長年図書館を利用しているが、司書と話したことがない。知りたいことを深く掘り下げるには図書館をどう利用したらよいか。知識の深掘りがスマートフォンにできなくて図書館にできる重要な点ではないか。

さいたま市は国内でも先進的であると思うので、視野を広げて海外に目を向けたり、市の各組織の機能の棚卸をして再構成したりする視点が必要になると思う。この協議会では再構成まで論じるものではないが、今回の提言を受けて行政幹部が生涯学習ビジョン等に盛り込んでいくものとなろう。

森委員

子供たちは外で遊ぶのが好きなので、雨の日を活用するようにしている。授業の中で本を読む時間を意図的に作っているが、年齢が上がるにつれて読む時間を作るのが難しくなっていく。自分たちの生活に地域の図書館へ行くことを組み入れることができる仕掛けや演出が何かあると良いと思う。例えばターゲットが小学生であればその親が子供を連れて公園にもいくし図書館にもよるといった風土づくりができれば良い。

柏委員

子どもたちと話す中で、スマートフォンからは様々な情報が得られるがどれも正解かわからない。図書館に行って司書と話したり本で調べたりするとほぼ間違いのない答えが得られる。そのため、スマートフォンで調べるより図書館を利用する方が効率が良いといった意見や、紙を手にとって見たいという意見もあった。

富田委員

広報について、このような場で市側はX（旧ツイッター）や市報でと言うが、市民は見えない。毛嫌いする人もいるのでやめた方がいいと思う。インスタ映えという言葉が以前流行ったが、インスタグラムも遅れてきていて、今はT

i k T o k など新しいアプリによる動画の影響力が大きい。回覧板やX、市報だけでは人は集まらないのではないかと。P T A では前述の新しいアプリを導入して情報発信しているが、ネガティブな印象を持たれがちなP T A でも保護者は見るようになってきている。紙の良さを知ってもらう入り口として、簡単に見られる動画での情報発信をして、保護者がちょっとした合間時間に見られると良いのではないかと。

もう一点として、さいたま市には絵本作家が結構いるので、リレー形式などの展示会ができたらいいなと思っている。

二宮委員

地域の知の拠点であるということの本の貸し出し以外のところでどう進めていくか、地域の人々が老いも若いも社会人も皆が喜ぶ図書館にするにはどうしたらよいかこれから考えていきたい。

加藤委員

うらわ美術館でおはなし会をすることがあるが、人気のある作家の年は参加者が多い。若い母親たちは何らかの手段で情報発信、情報収集しているようなので、そこをうまく捉えた情報発信を行うことで図書館に人が呼べるのではないかと。

山田委員

木曜会は視力の弱い方、見えない方を対象の中心として活動しているが、コロナ禍で対面朗読の機会が少なくなっている。視覚障害者だけでなく高齢者でも、本が読みたいけれど読めないという方に訴求できると良いと思う。

また、視覚障害者は図書館へ来るのも難しいので、移動図書館のような活動もできると図書館の利用が広がるのではないかと。

6 今後の進行について

事務局より資料No.6を用いて説明を行った。

質問・意見・協議等

各委員 (特に質問、意見なし)

7 その他

与野図書館長より資料No.7を用いて与野図書館の臨時休館について説明を行った。

事務局より次回の協議会の日程について説明を行った。

質問・意見・協議等

各委員 (特に質問、意見なし)

8 閉会